

# 日本漢字能力検定審査基準(2020年度～)

※赤字で示した箇所が2019年度までの審査基準からの変更点です。

## ■審査基準とは

日本漢字能力検定における審査基準とは、各級の検定で受検者の漢字能力を審査するための基準となるものです。各級の検定で対象となる漢字の範囲やそれらの漢字に関して適用される領域・内容を示しています。

## ■級のレベルについて

日本漢字能力検定は、社会生活や学校教育で必要とされる漢字能力の習得の度合いを測定する検定です。漢字の読み書きのみならず、漢字に関する総合的な能力を問う出題内容となっています。

## ■各級の審査基準 (2020年度～)

### ※常用漢字について

常用漢字とは、平成22年(2010年)11月30日付内閣告示による「常用漢字表」に示された2136字をいう。

10級	【程度】	小学校第1学年の学習漢字を理解し、文や文章の中で使える。
	【領域・内容】	《読むことと書くこと》 小学校学年別漢字配当表の第1学年の学習漢字を読み、書くことができる。 《筆順》 点画の長短、接し方や交わり方、筆順および総画数を理解している。
9級	【程度】	小学校第2学年までの学習漢字を理解し、文や文章の中で使える。
	【領域・内容】	《読むことと書くこと》 小学校学年別漢字配当表の第2学年までの学習漢字を読み、書くことができる。 《筆順》 点画の長短、接し方や交わり方、筆順および総画数を理解している。
8級	【程度】	小学校第3学年までの学習漢字を理解し、文や文章の中で使える。
	【領域・内容】	《読むことと書くこと》 小学校学年別漢字配当表の第3学年までの学習漢字を読み、書くことができる。 ・音読みと訓読みとを理解していること ・送り仮名に注意して正しく書けること(食べる、楽しい、後ろ など) ・対義語の大体を理解していること(勝つー負ける、重いー軽い など) ・同音異字を理解していること(反対、体育、期待、太陽 など) 《筆順》筆順、総画数を正しく理解している。 《部首》主な部首を理解している。

7級	【程度】	小学校第4学年までの学習漢字を理解し、文章の中で正しく使える。
	【領域・内容】	<p>《読むことと書くこと》          小学校学年別漢字配当表の第4学年までの学習漢字を読み、書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読みと訓読みとを正しく理解していること</li> <li>・送り仮名に注意して正しく書けること（等しい、短い、流れる など）</li> <li>・熟語の構成を知っていること</li> <li>・対義語の大体を理解していること（入学－卒業、成功－失敗 など）</li> <li>・同音異字を理解していること（健康、高校、<b>公共</b>、外交 など）</li> </ul> <p>《筆順》筆順、総画数を正しく理解している。          《部首》部首を理解している。</p>

6級	【程度】	小学校第5学年までの学習漢字を理解し、文章の中で漢字が果たしている役割を知り、正しく使える。
	【領域・内容】	<p>《読むことと書くこと》          小学校学年別漢字配当表の第5学年までの学習漢字を読み、書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読みと訓読みとを正しく理解していること</li> <li>・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること（<b>求める</b>、失う など）</li> <li>・熟語の構成を知っていること（上下、絵画、大木、読書、不明 など）</li> <li>・対義語、類義語の大体を理解していること（禁止－許可、平等－均等 など）</li> <li>・同音・同訓異字を正しく理解していること</li> </ul> <p>《筆順》筆順、総画数を正しく理解している。          《部首》部首を理解している。</p>

5級	【程度】	小学校第6学年までの学習漢字を理解し、文章の中で漢字が果たしている役割に対する知識を身に付け、漢字を文章の中で適切に使える。
	【領域・内容】	<p>《読むことと書くこと》          小学校学年別漢字配当表の第6学年までの学習漢字を読み、書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読みと訓読みとを正しく理解していること</li> <li>・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること</li> <li>・熟語の構成を知っていること</li> <li>・対義語、類義語を正しく理解していること</li> <li>・同音・同訓異字を正しく理解していること</li> </ul> <p>《四字熟語》          四字熟語を正しく理解している（有名無実、郷土芸能 など）。</p> <p>《筆順》筆順、総画数を正しく理解している。          《部首》部首を理解し、識別できる。</p>

4級	【程度】	常用漢字のうち約1300字を理解し、文章の中で適切に使える。
	【領域・内容】	<p>《読むことと書くこと》          小学校学年別漢字配当表のすべての漢字と、その他の常用漢字約300字の読み書きを習得し、文章の中で適切に使える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読みと訓読みとを正しく理解していること</li> <li>・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること</li> <li>・熟語の構成を正しく理解していること</li> <li>・熟字訓、当て字を理解していること（小豆／あずき、土産／みやげ など）</li> <li>・対義語、類義語、同音・同訓異字を正しく理解していること</li> </ul> <p>《四字熟語》          四字熟語を理解している。</p> <p>《部首》          部首を識別し、漢字の構成と意味を理解している。</p>

3級	【程度】	常用漢字のうち約1600字を理解し、文章の中で適切に使える。
	【領域・内容】	<p>《読むことと書くこと》          小学校学年別漢字配当表のすべての漢字と、その他の常用漢字約600字の読み書きを習得し、文章の中で適切に使える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読みと訓読みとを正しく理解していること</li> <li>・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること</li> <li>・熟語の構成を正しく理解していること</li> <li>・熟字訓、当て字を理解していること（乙女／おとめ、風邪／かぜ など）</li> <li>・対義語、類義語、同音・同訓異字を正しく理解していること</li> </ul> <p>《四字熟語》          四字熟語を理解している。</p> <p>《部首》          部首を識別し、漢字の構成と意味を理解している。</p>

準2級	【程度】	常用漢字のうち1951字*を理解し、文章の中で適切に使える。
	【領域・内容】	<p>《読むことと書くこと》          1951字の漢字の読み書きを習得し、文章の中で適切に使える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読みと訓読みとを正しく理解していること</li> <li>・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること</li> <li>・熟語の構成を正しく理解していること</li> <li>・熟字訓、当て字を理解していること（硫黄／いおう、相撲／すもう など）</li> <li>・対義語、類義語、同音・同訓異字を正しく理解していること</li> </ul> <p>《四字熟語》          典拠のある四字熟語を理解している(驚天動地、孤立無援 など)。</p> <p>《部首》          部首を識別し、漢字の構成と意味を理解している。</p>

\* 1951字とは、昭和56年(1981年)10月1日付内閣告示による旧「常用漢字表」の1945字から「勺」「錘」「銑」「脹」「兪」の5字を除いたものに、現行の「常用漢字表」のうち、「茨」「媛」「岡」「熊」「埼」「鹿」「柝」「奈」「梨」「阪」「阜」の11字を加えたものを指す。

2級	【程度】	すべての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使える。
	【領域・内容】	<p>《読むことと書くこと》          すべての常用漢字の読み書きに習熟し、文章の中で適切に使える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読みと訓読みとを正しく理解していること</li> <li>・送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書けること</li> <li>・熟語の構成を正しく理解していること</li> <li>・熟字訓、当て字を理解していること（海女／あま、玄人／くろうと など）</li> <li>・対義語、類義語、同音・同訓異字などを正しく理解していること</li> </ul> <p>《四字熟語》          典拠のある四字熟語を理解している（鶏口牛後、呉越同舟 など）。</p> <p>《部首》          部首を識別し、漢字の構成と意味を理解している。</p>

準1級	【程度】	常用漢字を含めて、約3000字の漢字の音・訓を理解し、文章の中で適切に使える。
	【領域・内容】	<p>《読むことと書くこと》          常用漢字の音・訓を含めて、約3000字の漢字の読み書きに慣れ、文章の中で適切に使える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熟字訓、当て字を理解していること</li> <li>・対義語、類義語、同音・同訓異字などを理解していること</li> <li>・国字を理解していること（峠、凧、畠 など）</li> <li>・複数の漢字表記について理解していること（國—国、交叉—交差 など）</li> </ul> <p>《四字熟語・故事・諺》          典拠のある四字熟語、故事成語・諺を正しく理解している。</p> <p>《古典的文章》          古典的文章の中での漢字・漢語を理解している。</p>

※約3000字の漢字は、JIS第一水準を目安とする。

1級	【程度】	常用漢字を含めて、約6000字の漢字の音・訓を理解し、文章の中で適切に使える。
	【領域・内容】	<p>《読むことと書くこと》          常用漢字の音・訓を含めて、約6000字の漢字の読み書きに慣れ、文章の中で適切に使える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熟字訓、当て字を理解していること</li> <li>・対義語、類義語、同音・同訓異字などを理解していること</li> <li>・国字を理解していること（忪える、峯る など）</li> <li>・地名・国名などの漢字表記（当て字の一種）を知っていること</li> <li>・複数の漢字表記について理解していること（鹽—塩、颱風—台風 など）</li> </ul> <p>《四字熟語・故事・諺》          典拠のある四字熟語、故事成語・諺を正しく理解している。</p> <p>《古典的文章》          古典的文章の中での漢字・漢語を理解している。</p>

※約6000字の漢字は、JIS第一・第二水準を目安とする。

※赤字で示した箇所が2019年度までの内容からの変更点です。

## 「漢検」級別 主な出題内容 (2020年度～)

10級…対象漢字数 80字

漢字の読み	漢字の書取	筆順・画数
-------	-------	-------

9級…対象漢字数 240字

漢字の読み	漢字の書取	筆順・画数
-------	-------	-------

8級…対象漢字数 440字

漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名
筆順・画数	送り仮名	対義語
同じ漢字の読み		

7級…対象漢字数 642字

漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名
筆順・画数	送り仮名	対義語
同音異字	三字熟語	

6級…対象漢字数 835字

漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名
筆順・画数	送り仮名	対義語・類義語
同音・同訓異字	三字熟語	熟語の構成

5級…対象漢字数 1026字

漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名
筆順・画数	送り仮名	対義語・類義語
同音・同訓異字	誤字訂正	四字熟語
熟語の構成		

4級…対象漢字数 1339字

漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名
送り仮名	対義語・類義語	同音・同訓異字
誤字訂正	四字熟語	熟語の構成

3級…対象漢字数 1623字

漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名
送り仮名	対義語・類義語	同音・同訓異字
誤字訂正	四字熟語	熟語の構成

準2級…対象漢字数 1951字

漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名
送り仮名	対義語・類義語	同音・同訓異字
誤字訂正	四字熟語	熟語の構成

2級…対象漢字数 2136字

漢字の読み	漢字の書取	部首・部首名
送り仮名	対義語・類義語	同音・同訓異字
誤字訂正	四字熟語	熟語の構成

準1級…対象漢字数 約3000字

漢字の読み	漢字の書取	故事・諺
対義語・類義語	同音・同訓異字	誤字訂正
四字熟語		

1級…対象漢字数 約6000字

漢字の読み	漢字の書取	故事・諺
対義語・類義語	同音・同訓異字	誤字訂正
四字熟語		

※ここに示したのは出題分野の一例です。毎回すべての分野から出題されるとは限りません。  
また、この他の分野から出題されることもあります。

※過去に出題された内容については、『漢検 過去問題集』(公益財団法人日本漢字能力検定協会発行)を参照してください。ただし、出題分野、出題形式、問題数は変わることがあります。